

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクール十日市場駅前	種別：認可保育所	
代表者氏名：半田 春美	定員（利用人数）： 36名	
所在地：〒226-0025 横浜市緑区十日市場町872-19 1階		
TEL：045-989-2577	ホームページ： https://www.poppins.co.jp/educare/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2021年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズエデュケア		
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員 8名	
専門職員	（専門職の名称） 名 調理師 1名	
	保育士 13名	
	栄養士 1名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	
	ワンフロアの中で、0歳児保育室、1.2歳児保育室、3.4.5歳児保育室に分かれている	事務所、給食室、トイレ、テラス、園庭

③ 理念・基本方針

企業理念：働く女性を最高水準のエデュケアと介護サービスで支援します
保育目標：人生でもっとも重要な時期の人間教育を目指します
教育方針：
・寛容な人間
・聡明で愛情深い人間
・探求心の旺盛な人間
・グローバル社会で活躍できる人間

④ 施設・事業所の特徴的な取組

ポピンズナーサリースクール十日市場駅前はJR十日市場駅から徒歩3分の立地にあります。
園周辺は緑豊かで近隣にはたくさんの公園があり、四季折々の風景や自然を楽しみながら、お散歩や戸外活動を行っています。
また園庭は、のびのびと体を動かせる広さがあり、夏の間はプールや水遊びを楽しんだり、幼児クラスでは毎年プランターで野菜栽培を行っています。野菜栽培の取り組みの中で、野菜を身近に感じ、野菜の名前、色や形に興味を持ち、自ら図鑑で調べるお子様の姿も見られています。収穫した野菜は、みんなでおいしく頂き、楽しみながら食育を行っています。
定員36名という少人数でアットホームな雰囲気大切にしながら、保護者様とともに成長を喜び、ひとり一人のお子様寄り添う保育を実践しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 7月12日（契約日） ～ 2024年 2月 6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

園全体で子どもの状況を把握しながら日々の保育に取り組んでいる

異年齢保育を特色としており、年齢が異なる子どもたちが日常的に一緒に過ごすことで、お互いに学び合い、協力し合う機会が増え、楽しく充実した保育環境となっている。子どもたちの社会性や共感力を育む大きな助けとなっていることがうかがえる。また、ワンフロアでの保育活動を通じて、どの保育士も子ども一人ひとりの状況を把握することができており、アットホームであることを強みとしている。

保護者アンケートでは高い満足度が示されている

今回実施した保護者アンケートでは、「園での活動に関する設問」において、「子どもの心身の発達に役立っているか」「興味や関心を持って行えるものになっているか」の2設問は100%の満足度が示されている。「成長を感じられる」「たくさんの経験を楽しんでいる」など、保護者からの感謝の声は、子どもたちが園で楽しく学び、成長していることを示しており、また、職員の努力が高く評価されていることがうかがえる。

地域連携による子育て支援と社会教育の推進を推進している

地域の子育て家庭や地域社会とのつながりを重視し、積極的な交流に努めている。施設長は、横浜市私立保育園園長会や緑区園長会に参加し、子育て支援事業にも積極的にに関わり、地域のニーズを把握して対応策を考えている。また、近隣の保育園と連携し、年長児交流会を開催することで、地域の子どもたちに他の教育機関との交流の機会を提供している。保護者からの発達に関する相談には丁寧に対応し、地域の発達相談所や療育センターへの情報提供も行っている。さらに、近隣の老人ホームと連携を取り、敬老の日には訪問して交流を図り、地元の農家と協力して芋掘りなどの自然体験活動も実施している。

今後期待される点

ポピズナーサリースクールとしての保育実践に理解を深めることに期待したい

保育の質を継続的に向上させるため、新しい情報の取り入れと保育に関する知識の更新に注力している。また、子どもたちの人権を尊重し、それぞれの個性やニーズに合わせたきめ細やかな対応を心がけることを重要な課題として位置づけており、継続的に取り組んでいる。これらの取り組みを通じて、子どもたち一人ひとりが充実した保育を受けられる環境を整え、保育サービスの質のさらなる向上を目指している。

園としての中長期計画の策定と実態に即した運用を期待したい

単年度の事業計画には数値目標が設定されており、その進捗状況は毎月の定例会議で報告され、職員に共有されている。法人全体の中長期計画はあるが、園としての中長期計画は策定されていないため、園としての具体的な課題を明確にすることが必要とされる。園全体で目標に向けた取り組みを共有し、実態に即した計画策定と実行に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審に向け、スタッフ全員で保育について様々なことを考え、意見を出し合えたことは、施設として、とてもいい機会になりました。またその話し合いの中で、各種マニュアルの読み合わせや見直しを行ったり、整備が進められたことは、スタッフ一人ひとりの意識の向上に繋がったと思います。

保護者様アンケートでは、有難いご意見をたくさん頂きました。内容についてはスタッフと共有し、評価して頂いた所は励みにしながら、改善点については今後の取り組みに活かしていきたいと思っております。

今後も地域と積極的に連携を図りながら、お子様、保護者様に安心して過ごして頂ける保育所運営を目指して参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり